

資料2

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年 1月20日

協議会名: 栃木市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
千代田タクシー有限会社 栃木合同タクシー株式会社 有限会社大平タクシー 藤岡タクシー株式会社 有限会社都賀タクシー 株式会社新交通 岩舟タクシー株式会社 安全タクシー有限会社	デマンド型交通「蔵タク」 営業区域: 北部エリア・南部エ リア 運行日: 月曜～金曜(祝日・ 12/29～1/3を除く) 運行時間帯: 8時～16時 運賃: 400円	・住民を巻き込み自分事化する ような仕組みの検討をすべきと の評価については、地域の住 民代表組織として市が市内8地 域にそれぞれ設置している地 域会議に対し、蔵タクの利用者 数、収支率の推移等を情報提 供した。また、自治会やシニア クラブへの出前講座の回数を 増やし、市民が利用することに よる地域公共交通の維持確保 の重要性について直接呼びか けた。 ・定量的な目標を示し、関係者 と情報を共有しながら進めてい くべきとの評価については、定 期的に開催している運行事業 者との懇談会において利用者 数、収支率の推移等を事業者 に情報提供し、課題の共有と 改善に向けた意見交換を行っ た。	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	C 事業が計画に位置付けら れた目標を達成できなかった。 収支率 目標: 20.0% 実績: 12.2% 利用者数 目標: 255人/日 実績: 173.3人/日 (コロナ禍前R1: 253.4人/日) 分析: 蔵タクの利用の多く が高齢者の通院・買い物 を目的としているが、新型コロ ナウイルス感染症による行 動制限の生活習慣が続いて いると推察されるため、 利用者数はコロナ禍前の水 準まで回復できていないと 考えられる。	・限りある資源を有効に配分す ることにより持続可能な公共交 通体系を構築することが重要 課題であるため、乗車データの 活用により移動需要に合った 効率的な運行の在り方につい て検討を進め、改定を予定す る地域公共交通計画に位置づ けていきたい。 ・制度周知を積極的に行い、蔵 タクの潜在的な需要を喚起す る。加えて、他の交通モードに ついて周知し、利用者に蔵タ クを含めた各種の移動手段か ら最適なものを選択、必要に応 じ乗継利用をしてもらえるよう 公共交通を積極的に利用する 市民意識の醸成に取り組みた い。

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 7年 1月20日

協議会名：	栃木市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	栃木市地域公共交通計画の基本的な方針： ・市民目線に立った利便性の高い公共交通の充実 ・将来にわたり持続可能な公共交通網の構築 ・コンパクトシティのまちづくり、経済の活性化、観光の振興、環境負荷の軽減など、魅力あるまちづくりを視野に入れた公共交通の充実 上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性： ・高齢社会の進行等による高齢者等の移動困難者の増加に伴い、通勤・通学・通院・買い物等の市民の日常生活の足の確保や、社会参加の機会を提供する。 ・高齢者等の移動困難者対策と公共交通空白地域の解消を推進するとともに、コミュニティバスでは補いきれない地域をデマンド交通で埋めることで、地域の特性や住民のニーズに適合し、持続可能な地域公共交通ネットワークを構築する。